

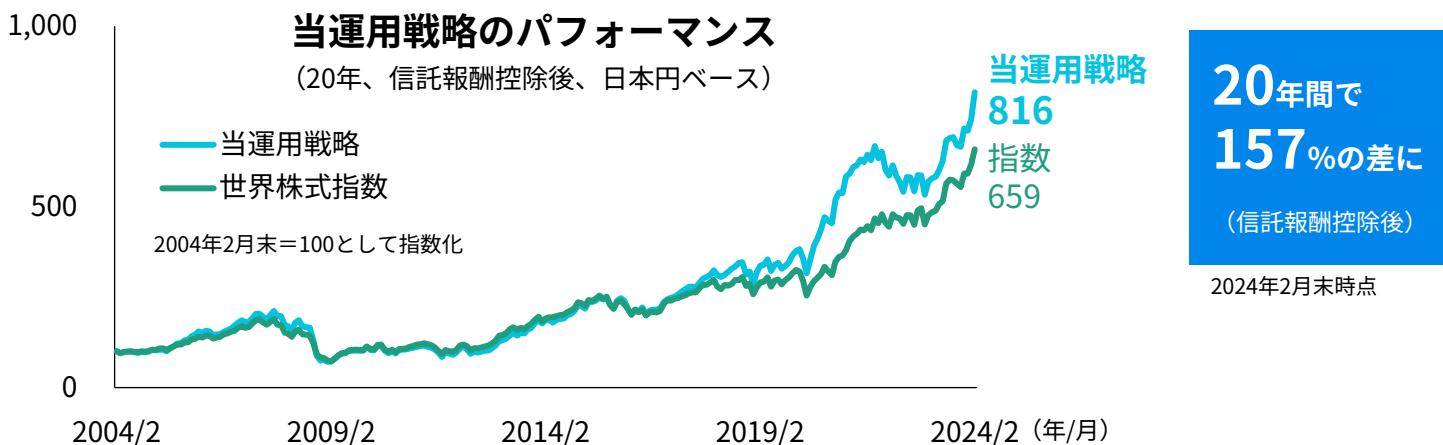


# ティー・ロウ・プライス 世界グロース株通信 Vol. 39

## ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド 当ファンドのアクティブファンドとしての特徴

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

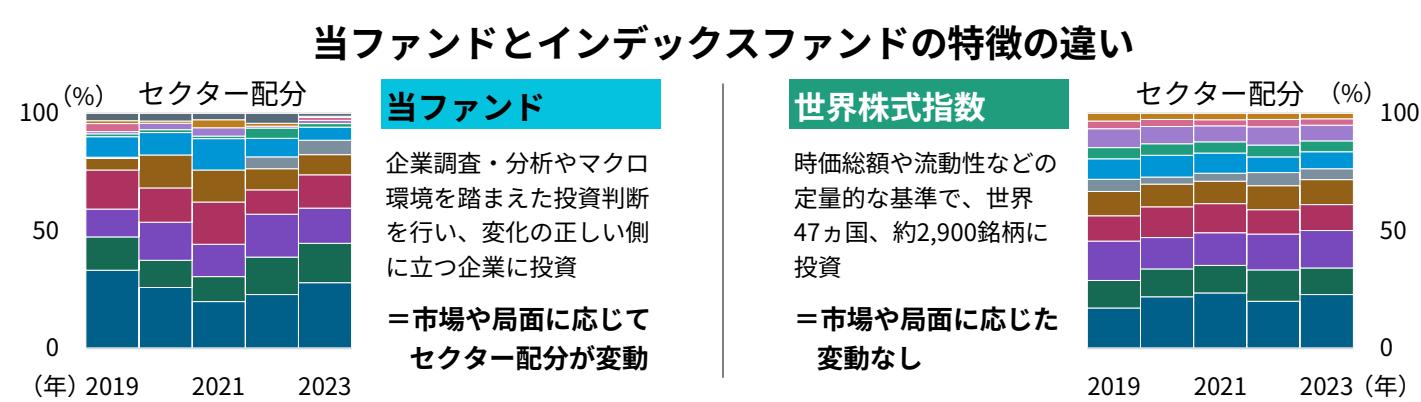
ティー・ロウ・プライス 世界グロース株通信では金融市場、経済環境、注目セクター、銘柄、金融市場を動かすトレンド等に対する運用責任者の見方などをご紹介しています。今回は、当ファンドのアクティブファンドとしての特徴についてご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



上記は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されているコンポジットあるいは、当該コンポジットを構成する代表口座・ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。当ファンドの将来の投資成果を示唆または保証するものではありません。

出所：ティー・ロウ・プライス 期間：2004年2月末～2024年2月末

- 当運用戦略のコンポジットの日本円ベースの月次リターンを用いて計算しています。信託報酬は当ファンドの年1.53%（税抜）に各時点での日本の消費税率を適用し、2004年2月～2014年3月は1.6065%（税込、消費税5%）、2014年4月～2019年9月は1.6524%（税込、消費税8%）、2019年10月以降は1.6830%（税込、消費税10%）を使用しています。
- 世界株式指数はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、日本円ベース）のリターンを使用しています。



アクティブファンドである世界厳選成長株式ファンドは、企業調査・分析と想像力をもって、変化に柔軟に対応するファンドです。



**Fastest Learner Wins, Open to Change.**

運用の世界では、変化に柔軟で、最も早く順応したものが勝つ

出所：ファクトセット 期間：2019年末～2023年末（年次）

- 当ファンドのセクター配分はマザーファンドの対純資産総額の比率です。世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
- 世界株式指数はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスを使用しています。
- 上記は過去の実績・状況であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

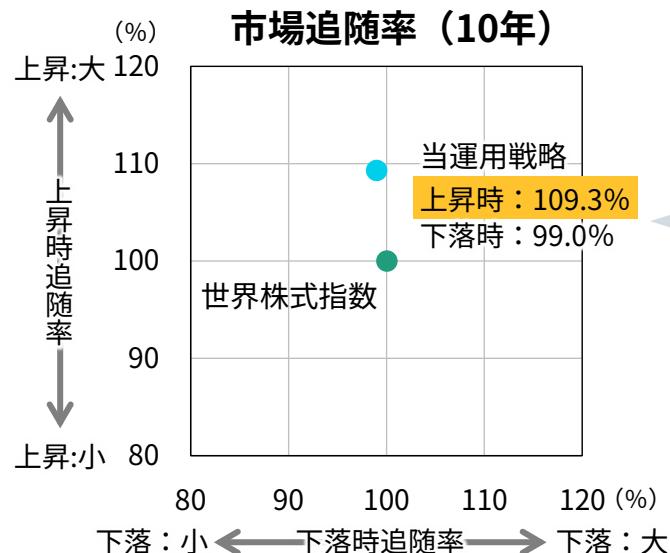
## 当運用戦略のリターン、特性値（信託報酬控除後、日本円ベース）

	リターン (10年、年率)	リスク (10年、年率)	シャープ レシオ	アルファ*	アクティブ シェア	売買回転率 (1年)
当運用戦略	15.90%	17.70%	0.90	2.14%	74.67%	100.23%
世界株式指数	13.18%	16.04%	0.82	—	—	—

<b>シャープレシオ 0.90</b>	シャープ レシオ とは？	運用で取ったリスクに見合うリターンを上げたかどうかを測る指標。リスク（標準偏差）1単位あたりの超過リターンを計測し、数値が大きいほど投資効率が高いことを示す。
世界株式指数 を上回っており、 市場よりもリスクに対して 効率良くなりリターンを獲得	アクティブ シェア とは？	ファンドが保有する銘柄と参考指標である指数に組み入れられる銘柄がどの程度異なるかを示す指標。数値が高いほど、指数に比べて、積極的に運用を行っている（アクティブに銘柄選択をしている）といえる、ファンドの特性を表す有用な指標。

**市場上昇時追随率  
109.3%**

指数上昇時、当運用戦略は指数を約9.3%上回るパフォーマンスを上げており、アクティブライトファンドとしての真価を発揮



例えば…  
市場が10%上昇した  
局面で当運用戦略の  
は10.93%上昇、  
反対に市場が10%  
下落した局面では  
ほぼ同程度の9.9%の  
下落となる

上記は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されているコンポジットあるいは、当該コンポジットを構成する代表口座・ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。当ファンドの将来の投資成果を示唆または保証するものではありません。

出所：ティー・ロウ・プライス 期間：2014年2月末～2024年2月末

・当運用戦略のコンポジットの日本円ベースの月次リターンを用いて計算しています。信託報酬は当ファンドの年1.53%（税抜）に各時点での日本の消費税率を適用し、2014年2月～2014年3月は1.6065%（税込、消費税5%）、2014年4月～2019年9月は1.6524%（税込、消費税8%）、2019年10月以降は1.6830%（税込、消費税10%）を使用しています。

・世界株式指数はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、日本円ベース）のリターンを使用しています。

\*アルファとは、ファンドがどれだけ市場平均の収益率を上回っているのかを示す数値。数値が大きいほど超過リターンが大きいことを示す。



## ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Aコース/Bコース/Cコース/Dコース

将来のパフォーマンスの確信度を示す  
モニングスター・メダリスト・レーティングでゴールドを獲得

出所：モニングスター 2024年2月末時点

- モニングスター・カテゴリー：(A/Cコース) Japan Fund World Equity - JPY Hedged、(B/Dコース) Japan Fund World Equity。モニングスター・カテゴリーは取得時点のものであり、将来変更される場合があります。モニングスターについての「留意事項」のページをご確認ください。
- 表示されている商標は、それぞれの所有者に帰属します。ティー・ロウ・プライスがこれらの商標の所有者を支持、後援、承認するものでも、提携するものではありません。
- 上記は過去の実績・状況であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

## 運用責任者デイビッド・アイズワートによる運用状況、今後の見通しのご紹介

足もとでは、高成長が期待される①AI・半導体関連や②肥満症治療薬（GLP-1受容体）関連、AIの波及効果を受ける③電力関連、業界要因と同時にインフレヘッジ目的で④エネルギー関連の銘柄に着目すると同時に、中国の需要低下リスクなど考慮し生活必需品関連への投資には注意を払っています。このような環境を考慮し、グロース企業一本槍ではなく、様々な収益機会を捉えつつ環境の変化に対応できるようバランスの取れたポートフォリオを維持しています。

### 運用状況

2023年にかなり注目度が高まったものの、AI市場の今後の成長余地はまだ大きく、トレンドの初期段階にあると考えています。成長サイクルは①必要なインフラ構築②マネタイズ（収益化）③成熟、ピークアウト（バブル崩壊）という流れを辿ることが多く、現在のAI市場は①の段階です。

### AIの成長サイクル



・上記はイメージです。

また、過去のイノベーションと同様に、AI市場においても先行者メリットが大きいと考えています。特に当ファンドの組入上位に位置するエヌビディアの長期的な成長性への確信度は高いです。同社CEOのジェンスン・ファン氏とは私がテクノロジーセクターのアナリスト時代から15年以上の交流を重ねており、ティー・ロウ・プライスは四半期に一度直接面談しており、引き続きAI向け半導体分野で他社をリードしていくでしょう。

### エヌビディアの株価と組入比率



出所：ファクトセット。期間：2021年3月30日～2024年3月29日

- ・株価は日次、組入比率は四半期ベースで、ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンドの数値を記載しています。
- ・引用した個別銘柄は、売買を推奨するものでも、将来の株価の上昇または下落を示唆するものではありません。また上記は過去の保有状況を示しており、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。
- ・上記は過去の実績・状況であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。



AIの他には、話題の肥満症治療薬に関するヘルスケア銘柄やAIによる大量の電力消費の恩恵を受ける電力関連銘柄など様々な収益機会を捉えるように、世界の変化を注視しています。

### 今後の見通し

歴史的に大きなショックの後には新たな均衡へ移行してきました。新型コロナのパンデミックはそのきっかけであり、現在は新たな均衡に移行する過程にある可能性があると考えています。

### 新たな均衡とは…？

これまで…

低インフレ  
低金利  
グローバル化  
高成長

これから…

相対的な高インフレ  
高金利  
脱グローバル化  
低成長

・上記はイメージです。

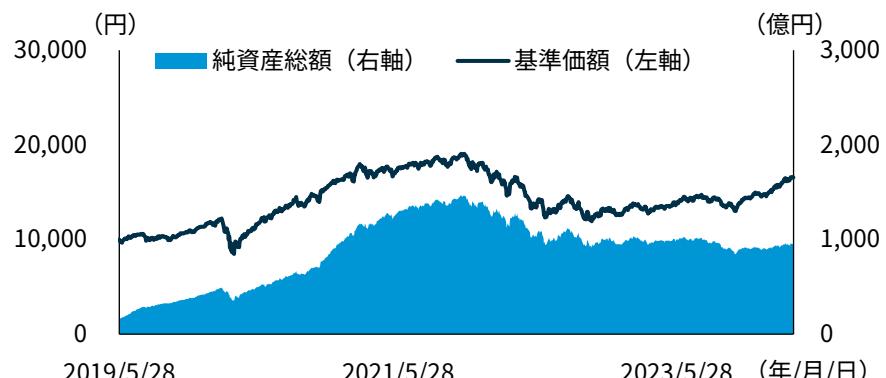
また、こうした世界の新たな均衡への移行に加えて、株式市場や身の回りの環境でも常に変化が起きています。そうした状況でも、当ファンドに投資してくださるお客様に代わって、企業の成長性を見極めるために想像力をもって投資判断を行います。これが、再現性が高く、投資家の皆さまの期待に応えるパフォーマンスに繋がると考えているからです。

## 各ファンドの基準価額、純資産総額の推移

## Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

基準価額	16,545円
純資産総額	950億円
分配金（累計）	—

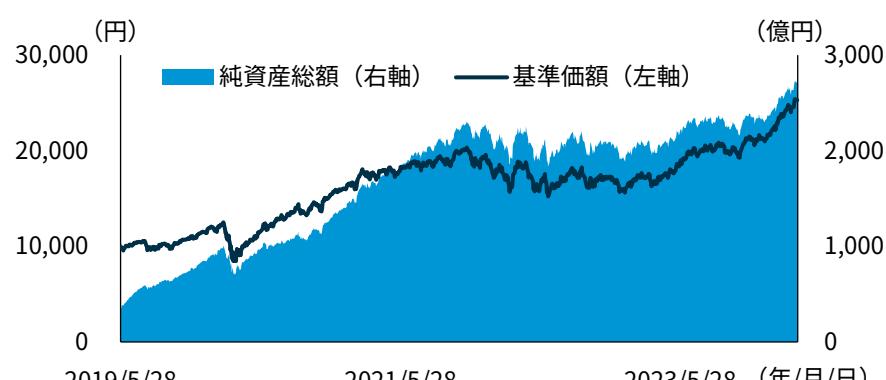
2024年3月29日時点



## Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

基準価額	25,300円
純資産総額	2,712億円
分配金（累計）	—

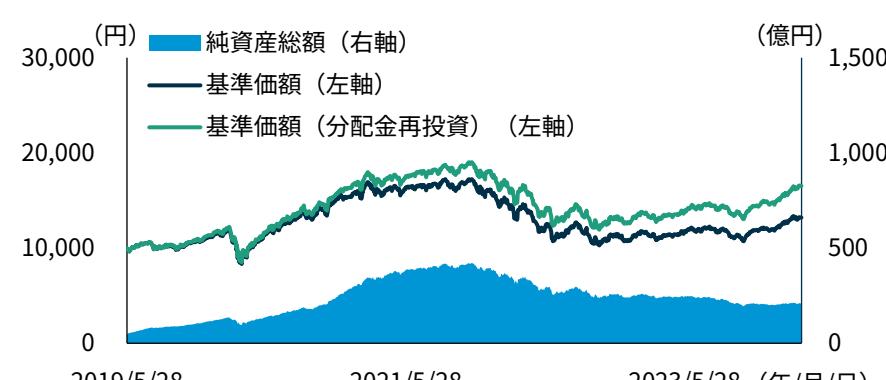
2024年3月29日時点



## Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

基準価額	13,217円
純資産総額	210億円
分配金（累計）	2,980円

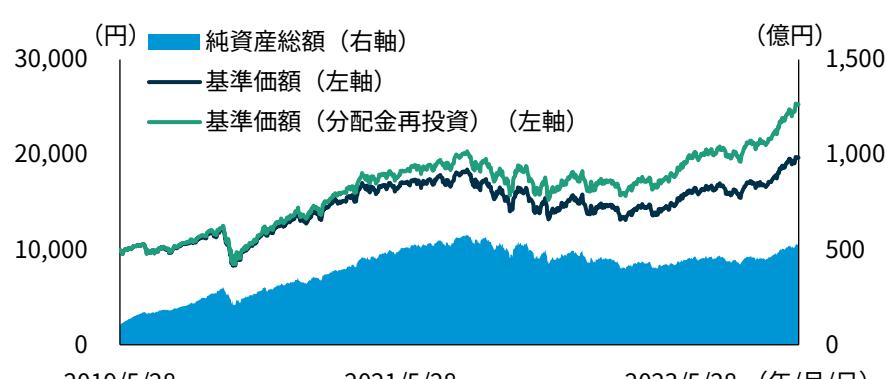
2024年3月29日時点



## Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

基準価額	19,671円
純資産総額	527億円
分配金（累計）	3,800円

2024年3月29日時点



期間：2019年5月28日（設定日）～2024年3月29日

- ・基準価額は1万口当たりとなっています。
- ・基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬控除後のものです。
- ・基準価額（分配金再投資）は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。
- ・運用実績や分配金は過去のものであり、将来の運用成果や分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わること、または分配金が支払われない場合があります。
- ・上記は過去の実績・状況であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。



# No.1

米国機関投資家向け  
米国株式アクティブライト  
運用資産残高<sup>\*1</sup>



約204兆円の  
運用資産<sup>\*2</sup>



937名の運用  
プロフェッショナルが協働<sup>\*3</sup>

# 85年超

1937年、  
ボルティモアにて  
創業

お客様の成功  
こそが、  
私たちの成功

アクティブライト  
運用の雄

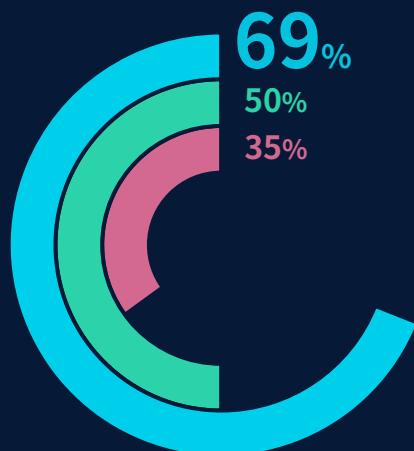
\*1 Pensions & Investmentsによる年次調査に基づく、適格退職年金、基金、財団などの米国の非課税機関投資家向けの運用資産残高（外部委託を除く自家運用分、2022年末時点）。ティー・ロウ・プライスの運用資産残高は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクのみが集計対象です。

\*2 2023年12月末時点。1米ドル=140.980円で換算。グループ全体の運用資産には、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク及び関連投資顧問による運用資産残高を含みます。

\*3 2023年12月末時点。

## 米国株式ファンドにおいて 10年間のパフォーマンスでインデックスファンドを上回った割合

2023年12月時点



ティー・ロウ・プライス<sup>\*4</sup>

運用残高トップ5のアクティブライト運用会社平均<sup>\*5</sup>

全アクティブライト運用会社平均<sup>\*6</sup>



ティー・ロウ・プライスの米国株式ファンドは、  
インデックスファンドを上回るリターンを  
長期かつ着実に実現してきました。  
この長期的な実績は、厳格なリサーチと  
数字にとらわれず隠れた投資機会を  
発掘してきた深い洞察によるものです。

出所：モーニングスターのデータをもとにティー・ロウ・プライスが作成

10年間の月次ローリング・リターン（2004年1月1日～2023年12月31日）を基に算出。比較対象とするインデックスファンドは、モーニングスター・ダイレクトで「インデックスファンド」に分類され、分析対象のアクティブライトファンドと同じモーニングスター・カテゴリーに属する米国株式ファンド（米国の投資信託およびETF、以下同様）。全てのアクティブライト運用会社は、ティー・ロウ・プライスを除く、アクティブライト運用を行う米国株式ファンド。分析は、パッシブファンドが存在するモーニングスター・カテゴリー内の全ての米国株式ファンドを対象に同一カテゴリーレベルで実施。最長シェアクラスのリターンを使用。ローリング・リターンは、リターン計測期間の起点と終点を1ヶ月ずつずらしながら10年の保有期間のリターンを計算。

\*4 24ファンド（延べ2,708期間）

\*5 ティー・ロウ・プライスを除く166ファンド（延べ16,090期間）。本分析で対象とした全ファンドにおける2023年12月末時点のアクティブライト運用資産残高上位5社が対象。

\*6 ティー・ロウ・プライスを除く1,826ファンド（延べ160,913期間）。

**モーニングスターについて:**著作権はモーニングスターに帰属します。当資料に含まれる情報は、(1) モーニングスターおよび情報提供業者のものであり、(2) 複写や配布を禁じ、(3) 情報の正確性、完全性、迅速性は保証されておりません。モーニングスターと情報提供業者はこの情報の使用により被る損害・損失に対し責任を負いません。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。



## ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、世界各国の株式(エマージング・マーケット\*も含みます。)の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行います。

\* エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ<sup>\*1</sup>」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス<sup>\*2</sup>のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

\*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

\*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコース／Cコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジ(主要国通貨による代替ヘッジを含みます。)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコース／Dコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4

決算頻度と為替ヘッジの有無の異なる4つのコースからお選びいただけます。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記1～3のような運用ができない場合があります。  
※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

#### 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク(ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。)は以下の通りです。

#### 株価変動リスク

当ファンドは、世界の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式(米国預託証券(ADR)、欧州預託証券(EDR)、グローバル預託証券(GDR)等を含みます。)の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。また、当ファンドは中小型株に投資することがありますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式よりも価格の変動が大きくなる場合があります。

#### 為替変動リスク

AコースおよびCコースは、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、主要国通貨を用いた代替ヘッジを行う場合がありますが、通貨間の値動きが異なるため、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

BコースおよびDコースは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

#### エマージング・マーケット・リスク

当ファンドは、エマージング・マーケット(新興国市場)の株式も投資対象としています。エマージング・マーケットは先進国と比較して市場が成熟していないため、流動性が低く、価格の変動性も大きいことから、価格変動リスクが高くなる傾向にあります。また新興国は先進国と比較すると政情が不安定な国や地域が多く、投資対象国・地域における政治体制の変更、法令の変更、経済情勢の変化等の影響が市場におよぶリスクが高くなります。これらのリスクにより、基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

購入時	購入単位	一般コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位(分配金を再投資する場合1口単位) ※購入後のコース変更はできません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	購入代金	販売会社の定める期日までにお支払ください。
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
申込について	申込締切時間	午後3時までに販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件10億円を超える換金はできません。 また、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消することがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。
信託期間		
繰上償還		
決算日		
収益分配		
その他		
信託金の限度額		
公告		
運用報告書		
スイッチング		
課税関係		

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額(購入申込日の翌営業日の基準価額×購入口数)に以下の手数料率を乗じた額とします。	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、年1.683%(税抜1.53%)の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	購入代金	購入時手数料率	
	1億円未満	3.30%(税抜3.0%)	
信託財産留保額	1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)	信託事務の諸費用等
	5億円以上	0.55%(税抜0.5%)	法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%(税抜0.1%)を上限とする額が毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	※購入代金=購入口数×基準価額+購入時手数料(税込) ※スイッチングによる購入は無手数料とします。	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、信託財産から支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
ありません。		売買委託手数料等	

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 投資信託および当資料に関する注意事項

■当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様向け資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。■当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の投資成果を示唆、または保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。■ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時に渡しますので、必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。■投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構や保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。購入金額については、元本および利回りの保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。■「T. ROWE PRICE」「INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標または登録商標です。当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

## 収益分配金に関する留意点

■分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるとき、その金額相当分、基準価額は下がります。■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。■投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 当資料で使用している指標・データについて

■MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス：出所MSCI。MSCIおよびその関連会社、並びに第三者の情報源および提供者（まとめて「MSCI」）は、本稿に記載されるMSCIのデータに関して、明示的または暗黙的に関わらず、いかなる保証や表明は行わず、一切の責任を負いません。MSCIのデータは、その他の指数や証券、金融商品の基準としての更なる再配布や使用が禁止されています。本資料は、MSCIによって承認、審査、発行されたものではありません。過去のMSCIのデータおよび分析は、将来のパフォーマンスの分析、見通しまたは予測を示唆または保証するものではありません。いずれのMSCIのデータも、投資判断のための投資アドバイスや推奨を目的とするものではなく、投資アドバイスや推奨として依拠してはなりません。

■金融データと分析の提供はファクトセット。Copyright 2024 FactSet. すべての権利はファクトセットに帰属します。

## 世界産業分類基準（GICS）について

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグロウヒル・カンパニーズ傘下のスタンダード＆プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

## モーニングスターについて

■著作権はモーニングスターに帰属します。当資料に含まれる情報は、（1）モーニングスターおよび情報提供業者のものであり、（2）複写や配布を禁じ、（3）その正確性、完全性、迅速性は保証されておりません。モーニングスターと情報提供業者はこの情報の使用により被る損害・損失に対し責任を負いません。■モーニングスター・メダリスト・レーティング™は、定性面・定量面の評価から将来のパフォーマンスへの確信度を示すデータとして、フィー控除後期待アルファがプラスのファンドのうち、上位15%をGold、次の35%をSilver、次の50%をBronzeに分類しています。

## 販売会社・運用会社

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号等：野村證券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



T.Rowe Price

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号  
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人投資信託協会